

# FUJI UNIV. 富士大学広報誌

FUJI UNIVERSITY INFORMATION

■ 大学院 / 経済・経営システム研究科 ■ 経済学部 / 経済学科・経営法学科・経営情報学科

2018.6.1

# No.45

## 建学の精神

本学の教育理念は、人類の築き上げつつある学術文化を研究・教授し、深い教養と総合的判断力をもった豊かな人間性を養うことによって、平和的かつ創造的な文化の向上と活力ある社会の発展に寄与する人材を育成するにある。この理念に基づき、特に地球的・国際的視野の涵養、創造的・実践的知性の開発、自発的・奉仕的精神の体得を目標として、心身ともに健全な学生の育成を期する。

### 本学のモットー

思索と行動は人生の双つの翼だ



経営法学科  
小田原実穂さん

## 富士大学

〒025-8501 岩手県花巻市下根子 450-3 TEL0198-23-6221・FAX0198-23-5818

# 平成30年度 入学式



4月7日、花巻市文化会館において平成30年度入学式が行われ、式には入学生や保護者、ご来賓、大学関係者ら約600人が出席しました。

入学生の呼名後、岡田学長が式辞で「今感じている感情を忘れず、自然も歴史も文化も豊かな花巻地域で過ごす4年間を素晴らしいものにしてほしい」と新入生を歓迎しました。

新入生を代表して、経済学科の芳野安樹さん(青森県立三沢高出身)が「勉学、スポーツ、ボランティア、国際交流等、多岐にわたる活動を通して、教養を身につけ、経世済民、世の中を治め人々の苦しみを救う経済学を学びの角に据えて日々精進して参ります。」と宣誓しました。

経済学部、大学院の新入生たちは、将来の目標に向かって新たな一歩を踏み出しました。

参列を賜りました花巻市長の上田東一様をはじめご来賓の皆様方に感謝申し上げます。

## 国際学術交流シンポジウム 開催しました。

5月10日(木)16時00分~17時30分 富士大学  
6号館631教室にて、中国・吉林農業大学の研究者をお招きし、日中双方における地域と大学・学生の異文化交流の現状と課題を共有し、それぞれに今後の方向性を探っていくこととして、国際学術交流シンポジウムを開催しました。

中村良則 氏

(富士大学副学長・異文化交流センター長)  
「富士大学における異文化交流の現状と課題」

崔 肃京 氏

(富士大学教授・地域経済文化研究所)  
「対話を通して異文化を理解する」

呂 文発 氏

(吉林農科大学科研処処長・  
前国際合作与交流処処長)  
「グローバル化時代の大学の役割  
ー吉林農科大学の国際交流と現状ー」

ディスカッション

## 「中国・吉林農業大学への 1年間の留学を終えて」

こんどう ただし  
経済学科4年 近藤 匡(北海道:東海大学付属第四高出身)



左が近藤さん



中国・吉林農業大学に1年間留学をして、様々な文化や歴史、語学を学ぶことができました。当初は食事や言葉が合わなく苦労することも多かったのですが、帰国する日が近づくにつれ言葉も話すことができ、食事や生活のスタイルなどが合うようになり、帰国する日には少し寂しかったです。

また、吉林農業大学には日本人が一人も居なかったということもあり、語学が上達できたので改めて留学をしてよかったと思いました。

最近の中国の大学生などは日本という国に憧れを持ち、日本の大学に留学したいという人も増加しています。今回の経験を活かし、富士大学に留学したい、又は中国の大学に留学したいという人のきっかけになれば良いと思っております。

## 2018年文部科学大臣委嘱 図書館司書・司書補講習

### 申込期間

2018年4月9日(月)~6月30日(土)  
郵送の場合は期間内必着

### 募集要項

募集要項の冊子をご希望の方は、電話またはメールにてお申込み下さい。要項代・送料は無料です。  
メールでのお申込みの際は、

- 氏名
- 郵便番号、住所
- 電話番号

を必ず明記してください。  
宿舍案内をご希望の場合はその旨も明記してください。

### 申込先

〒025-8501 花巻市下根子450-3  
富士大学 総務・統括部総務係  
TEL 0198-23-6221  
E-mail syomu@fuji-u.ac.jp

この講習は、毎年夏季に実施している、主に一般の方を対象とした講習です。約2か月間(司書補は6週間)の講習を受講し所定の単位を修得して認定されると、「司書及び司書補となる資格(国家資格)」が与えられます。

東北・北海道地区での開講は本学のみとなっており、全国津々浦々から毎年たくさんの方が受講しています。





## 地域創生論

木曜日 14:10～15:40

### 講義方法

本学学生を対象とした講義を、地域や県内の関心を持つ多くの人にも開放し、公開のものとします。また、開講の主旨から、授業時間90分中、実質講義時間は60分とし、質疑による理解の醸成を図る時間を30分とします。

### 受講料

資料代として1回につき300円  
(受付時にいただきます)

### お問い合わせ

総務・統括部総務係

TEL: 0198-23-6221

mail: syomu@fuji-u.ac.jp

本年度も公開講義「地域創生論」を開講いたします。多くの外部講師を招聘し、受講者一人ひとりの地域課題認識を明確にすることを目的としています。

1回目	4.12 「地域創生論」の狙いと諸論説	富士大学長 岡田 秀二
2回目	4.19 岩手県の実態と岩手県の「地域創生政策」	岩手県政策地域部副部長 小野 博 兼政策推進室長
3回目	4.26 地域はどのようにすると活性化する	一関市長 勝部 修
4回目	5. 3 NHKは地域の歴史と生活をアーカイブする	NHK盛岡放送局長 田中 宏曉
5回目	5.10 遠野市の地域振興戦略	遠野市長 本田 敏秋
6回目	5.17 木質社会が地域の未来を拓く	東北森林管理局長 小島 孝文
7回目	5.24 日本酒は岩手をここまで元気にする	(株)南部美人代表取締役社長 久慈 浩介
8回目	5.31 「リノベーションまちづくりについて～企業経営力を応用した地域経営～」	(株)花巻家守舎代表取締役 小友 康広
9回目	6. 7 日本政策金融公庫と地域創生	(株)日本政策金融公庫副総裁 皆川 博美
10回目	6.14 農林水産省の地域創生政策(条件不利地域対策)	農林水産省農村振興局 地域振興課長 松本 雅夫
11回目	6.21 奥羽山系山村の実態と「地域創生戦略」	西和賀町長 細井 洋行
12回目	6.28 ヒット商品「Ça va?(サヴァ)缶」の誕生	岩手県産株式会社東京支店 いわて銀河プラザ店長 長澤由美子
13回目	7. 5 欧米ではこんな地域づくりがある	共同通信社 盛岡支局長 半澤 隆実
14回目	7.12 地球物理学者は地域振興をこのように考える	東京海洋大学学術研究院 特任教授・東京大学名誉教授 木村 学
15回目	7.19 『「地域創生」の実現に向けてⅢ』	司会：富士大学長 岡田 秀二 パネラー：岩手県副知事 千葉 茂樹氏 花巻市長 上田 東一氏 岩手日報社報道部次長 熊谷宏彰氏

受付は締め切りました。後期も開講予定です。

## ダニエル先生の英語講座

富士大学でダニエル先生の英語講座に参加しませんか。

毎回、1つのトピックを取り上げ、英語で話し合います。

アメリカ文化に関するエッセイを読んで、日米の文化の違いについて考えることもあります。また、最終日には、楽しいパーティーを予定しております。

恥ずかしがる必要はありません。単語を並べただけの英語でも充分通じます。ダニエル先生と一緒に楽しく英語を学びましょう。

講師：准教授 ダニエル・ニューバリー

場所：富士大学 図書館他

講座：9回 ①15:50～16:35 (45分間) ②16:40～17:25 (45分間)

定員：①・② 各7～8名程度 対象：高校生、一般のみなさん

受講料：1,000円

回	実施日	内容
1	4月23日(月)	自己紹介、姉妹都市について～花巻とホットスプリングス
2	5月7日(月)	自分、家族、周りの人々について語る
3	5月14日(月)	様々なコマース
4	5月21日(月)	日米の都市と地方、都会と田舎
5	5月28日(月)	世界のスポーツ
6	6月4日(月)	世界のライフスタイルとマナー
7	6月11日(月)	世界の教育事情
8	6月18日(月)	世界の祭り
9	6月25日(月)	ポトラックパーティー

参加申し込み  
お問い合わせ

異文化交流センター 0198-23-7931

## 「女子学生のためのキャリア形成論」

4月18日(水)～7月11日(水)の毎週水曜日3時限目(12:30～14:00)全13回に渡り外部講師をお迎えし、公開講義を行います。

講師は、佐藤美恵子氏、千葉絢子氏、小野裕美氏、熊澤厚子氏、高橋比奈子氏。

詳しくは本学のウェブサイト、もしくはキャリアセンターまでお問い合わせ下さい。

受講料：1,000円



佐藤美恵子氏

参加申し込み  
お問い合わせ

キャリアセンター  
e-mail: syusyoku@fuji-u.ac.jp  
0198-23-7933 (直通)

## 「金融と人生設計」終了しました

市民のみなさんへは、

第2回・第5回・第7回・第8回の講義を公開しました。

大学時代は、人生のデザインを描き、社会人として自立する能力を確立する時期です。

本講義では、生きていくうえで役立つ人生とお金に関する知恵を、基本から幅広く紹介します。

人生とお金問題は切り離せません。

第2回 4/25(水)	会場：富士大学 541教室
第5回 5/10(木)	回数：学生向けには15回
第7回 5/24(木)	時間：15:50～17:20(90分間)
第8回 5/31(木)	受講料：無料

後期にも公開授業を開催予定です。



# 平成29年度 富士大学卒業式・大学院修了式

3月16日(金)、花巻市文化会館において、平成29年度富士大学卒業式・大学院修了式が執り行われ、ご来賓・ご家族・教職員などが見守る中、学部卒業生、大学院修了生に卒業証書・学位記が授与されました。

岡田秀二学長は式辞で「変革期という大海原に船出する皆さんには多くの困難が待ち受けているでしょう。富士大学を母校とする皆さんは、大学を心の拠り所として、大いなる飛躍をされることを祈念します」と述べました。

式終了後は花巻温泉にて卒業謝恩パーティーが催され、教職員への感謝、友との別れを惜しみました。



平成29年度学長表彰受賞者

▶ 経済学部 ◀

学業成績優秀賞

山崎 栄紀  
吉澤 慶杜  
佐々木志遠  
新井田 開  
佐々木 楓

課外活動優秀賞

小林 遼  
海老原侑芽  
菊地 裕太  
伊藤 仁也

学術論文優秀賞

川村 直輝  
村上 直人

▶ 大学院 ◀

修士論文優秀賞

古川 良之



学部卒業生を代表して

経営情報学科 学士(経営情報学)

Eiki Yamazaki

やまざき えいき  
山崎 栄紀  
岩手：宮古商業高出身

4年前、富士大学に入学したときに目標としたことは、学生の本分である勉学に一生懸命取り組み、たくさんの知識を身につけるということです。経済学・会計学・経営学・情報科学を中心とした多くの専門科目はもちろん、教養科目も幅広く学びました。授業には必ず出席し、多くの知識を得るべく努力を重ねたことにより、人間としての幅が広がり、成長することができたと自負しております。時には、奮闘努力の甲斐もなく挫折を味わうこともありましたが、それを乗り越えることができたからこそ今があると思っております。目標のとおり4年間努力を続け、充実した学生生活を送ることができました。今、卒業を迎えるにあたり、非常に清々しい気持ちでいっぱいです。

私たち卒業生は、この4年間で授業、部活動、アルバイト、資格取得、就職活動とたくさんの経験をしました。春からは社会人となり、これらの経験をこれからの人生に活かしていきたいと思っております。この先、困難に直面することも多々あるかと思いますが、富士大学で培った経験や知識を糧として、対処していきたいと思っております。そしてこれまでお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れることなく、日々精進していく所存です。

最後になりますが、これまで私たちを支え、温かく見守ってくださった先生方をはじめ、家族、同級生、先輩・後輩、富士大学教職員を中心とした多くの関係者の皆様に、卒業生一同心より感謝申し上げます。



大学院修了生を代表して

経済・経営システム研究科 修士(経済学) ふるかわ よしゆき  
古川 良之

Yoshiyuki Furukawa

私は他の大学院からの転入学という形で、本学大学院に入学させて頂きました。転学前には不安な点もありましたが、吉田信一研究科長をはじめ、さまざまな方々に親身になってご指導頂いたおかげで無事に修了することができました。今となっては、転学という決断をして本当に良かったと思っています。

短い在籍期間にはなりませんが、その中でもさまざまなことを学ぶことができました。私は税理士になることを目的として本学大学院に入学しましたが、租税法という分野を研究する上で、同じ目的を持った学生が多数在籍していることや、さらに幅広い年齢層とキャリアの先輩、後輩もできるという有意義な環境は、自分の研究をより深めることに繋がりました。またその一方で、経済学など他の学問分野に関する講義では、基礎部分からの丁寧なご指導をして頂いたことが印象的であり、そのおかげで租税法以外の分野でも学び得たものは大きかったと思います。振り返ると、本学大学院にはさまざまな場面で学びやすい環境があり、まだまだ学びたいという気持ちになるあつという間の1年間でした。

最後に、転入学という形でも論文指導を快く引き受けて下さった中江博行教授をはじめ、多くの大学関係者の皆さま、また共に学んだ同期生の方々には大変お世話になりました、深く感謝申し上げます。これからも本学大学院が地域社会に貢献し、ますます発展していくことを願っています。





## 水沢第一高等学校と 高大接続連携協定を 締結しました。



平成 30 年 2 月 19 日 (月) 水沢第一高等学校において、本学と学校法人協和学院 水沢第一高等学校は、新たな時代に相応しい地域の持続・発展や地域活性化に向け、若者が地域に夢や目標を持てるよう、人材育成・学術・文化・教育において連携・協力を図るため、高大接続連携協定を結びました。

1. 高齢化社会・福祉社会の質的向上及び地域社会が抱える諸課題への取組
2. 地域社会が必要とする人材の肉体的・精神的能力の醸成についての協力、研究及び教育への反映
3. 人格形成に必要な教養と行動規範についての協力、研究及び教育への反映
4. その他、高大接続、連携に関する事項についての協力

岡田学長と水沢第一高等学校 伊藤勝校長によって、協定書に調印が行われました。その後、水沢第一高等学校の教員・生徒約 50 名に対して、協定締結についての説明、さらには本学の紹介を行いました。

双方にとって、この協定が実り豊かなものになるよう努力をして参ります。

## 大塚製薬株式会社とスポーツ振興および 健康増進に関する**包括連携協定**を 締結しました。



富士大学と大塚製薬株式会社の包括連携に関する協定調印式が平成 30 年 2 月 28 日 (水) 本学応接会議室で行われました。

この包括協定は、地域の健康増進やスポーツ振興に関すること、スポーツ活動時の熱中症対策、水分・栄養摂取、「食育」に通じた健康づくり、学生等の健康増進やお互いのブランド価値向上に関する事などについて連携、協力することを主に締結されたものです。

## 第3回いわてふるさと交流会にボランティアスタッフとして参加しました。

平成 30 年 1 月 26 日 (金) 「第3回いわてふるさと交流会」(主催/盛岡市 NPO 法人いなほ 場所/花巻市 花巻交流会館) が開催され、本学からボランティアスタッフとして学生 4 名 (3 年生 1 名、2 年生 1 名、1 年生 2 名) が参加しました。

この会は、約 7 年前の東日本大震災で被災し現在岩手県内陸部で生活する方々を対象に、外出機会を増やし、被災者同士の交流促進、新たな仲間づくりを目的として年 1 回開催されているものです。

今回は、花巻市をはじめ盛岡市、北上市、奥州市、遠野市、一関市など 8 市町に住む被災者約 170 名と地域の社協関係者などスタッフを合わせて約 200 名が参加したイベントでした。



### 参加した学生のコメント

倉永 聖さん (3 年・相澤ゼミ)

ボランティアスタッフとして参加しましたが、約 7 年前の大震災で被災された方々の生の声を聞くことができ、とても勉強になった時間でした。またイベントを開催した皆様とも深く関わることができ、自分自身のネットワーク構築にも繋がりが、良い 1 日となりました。

高橋 一希さん (1 年・藤原ゼミ)

震災のために故郷を離れなければならなかった多くの皆さんと話をした時、私たちに對して、「ありがとう」と言ってくださいました。ボランティアスタッフとして会場の準備や食事の担当をしましたが、少しでも故郷の仲間と繋がる時間のお手伝いができて嬉しく思いました。

天羽 翔太さん (2 年・菊池ゼミ)

現在、岩手県内陸部に移住しているたくさんの人達と交流することができ、とても良い経験ができたと感じています。また主催した方々の思いを感じられたこと、多くの皆さんと一緒に会に携われたことに感謝し、今後もできる限り地域のイベントに参加したいと思います。

柳柳 貫太さん (1 年・藤原ゼミ)

イベントに参加した皆さんの多くの笑顔を見ることができ、ボランティアに参加して良かったと思います。さまざまな苦勞や苦難があったと思いますが、踊りや歌で皆さんがふるさとを感じ、楽しんでいたように思います。これからも地域で開催される多くのイベントに参加していきたいです。

(学年は当時)

## 学生消防団員

天羽翔太さん (経済学科 3 年・徳島県立阿波高出身) が花巻市消防団から 4 月 1 日付で辞令書を受け取り、第 1 分団第 5 部団員として活動する事になりました。

今後、消防団の訓練を受けながら地域の為に活動いたします。



## 南城中学校生徒・富士大学留学生交流会に参加しました。

平成 29 年 12 月 23 日 (土) 「南城中学校生徒・富士大学留学生交流会」(主催: 花南地区コミュニティ会議 場所: 花南振興センター) が開催されました。

交流会には南城中学校 2 年生 9 人、本学留学生 7 人、(韓国 4 名、中国 2 名、モンゴル 1 名)、本学学友会の学生 3 名が参加しました。

交流会の最初はピンポンゲーム (卓球) を行い、中学生と留学生のペアでチームを作り、初めは緊張していた様子でしたが、ゲームが進むにつれ徐々に緊張もほぐれていきました。

その後、「賢治の短歌百首カルタ」遊びや、中学生との意見交流会を行い、最後に手巻き寿司をみんなでごちそうになり、楽しいひと時を過ごしました。

留学生は初めてのカルタ遊びや手巻き寿司を体験し、日本文化や食に触れることができ、充実した交流会となりました。





## ふるさと発見!大交流会 in Iwate 2017が開催されました。



平成 29 年 11 月 19 日 (日) 岩手大学第一体育館にて「ふるさと発見!大交流会 in Iwate」(主催:COE+ふるさといわて創造協議会)が開催され、本学からは2つのブースを出展しました。

①『新ステージの「地域貢献」をキャッチコピーに大学の取り組みなどを紹介。

キャリア教育・就職実績をもとに「就職にも強い富士大学」についても、参加した高校生に向けてアピールしました。

②『地域定住人材育成プログラムと地域貢献活動』について紹介。

平成 29 年度からスタートした「地域定住人材育成プログラム」の内容について、藤原忠雄ゼミの学生がプレゼンテーションを行いました。

この大交流会は、岩手の企業、自治体等、大学や大学研究室の 175 ブースが出展し、来場者は高校生・大学生・高専生が1,150名、一般 500 名、関係者を合わせて 2,000 名が参加した大イベントとなりました。



## 第8回 富士大学税務会計研究会が開催されました。

本学大学院修了生による「第 8 回 富士大学税務会計研究会」が平成 29 年 11 月 25 日 (土)、「アキタ・スクエア」(秋田県秋田市)にて開催されました。



本学大学院修了生、在学生に加えて、関東学院大学大学院の修了生の方々も交えて 20 名程の参加者がありました。

今回の研究発表者は、修了生の山條裕史さん(19G)、長谷部直哉さん(22G)と大学院客員教授の中江博行先生で、その内容は、非上場株式の評価、所得拡大促進税制、財産評価基本通達の理論的解釈をテーマとした報告発表でした。非常に密度の濃い内容のもので、充実した研究会となりました。

研究会終了後は、秋田駅付近にて懇親会が開催され、こちらも意見交換等で非常に有意義な時間が共有され、第 8 回目の富士大学税務会計研究会がこれまでと同じく非常に盛況な会となりました。

## 「幸福について考えるワークショップ」が、本学で開催されました。

平成 30 年 1 月 17 日 (水)「幸福について考えるワークショップ(体験型講座)」(主催/岩手県 県南広域振興局)が本学 635 教室で開催されました。

岩手県では、次期総合計画(2019 年度~2028 年度)の策定にあたり、物質的な豊かさだけでなく、岩手が持つ「多様な豊かさ」や「つながりの価値」などにも着目し、計画の重要なテーマの一つを「幸福」としていくこととしています。このワークショップは、県民参加型の取組みとして、県民自らが「幸福」について考え、身近な人や地域の「幸福」につき意識する機会をつくり、次期総合計画への反映とその理解醸成を図る目的で、県内 4 地区にて開催されるものです。

今回は、大学生がどのようなことに「幸福」を感じているのか。岩手県のいいところや悪いところなども見つめなおし、さらに「幸福」を高めるにはどうすればいいかを考えてもらい、「幸福」のヒントを探す試みとして、県南地区での第 2 回目の開催となりました。

ワークショップは、岩手県出身の 1 年生 8 名(高橋(榮)教養演習)が参加しました。

- 2グループに分かれ、ファシリテーター(議事進行調整促進者)を含めた5名で自己紹介
- 「幸福カルテ」(県作成のもの)を各々作成(各項目の集計をグラフ化し「幸福の4分野」で実感度と重要度の視覚化評価を実施)
- 「幸福カルテ」の結果を、グループ内で発表(特徴やその理由など)
- 平成 27 年度の統計データ及び全国順位をもとに岩手県の数値的な特徴を学び、その情報を共有したうえで「自分や周りの人の幸福を高めるために、どんなことがしたいか?」を討議
- 「私の幸福宣言」を各々作成
- グループごとの発表と「私の幸福宣言」の発表



コーディネーター(司会者)やファシリテーターの方々から「経済学部の学生らしい視点や問題意識からの発表が多く、一般市民向けのときは違う特徴が出たワークショップになり、とても良かったです。」とのコメントがありました。

ほとんどの学生が、ワークショップを初めて体験しました。ワークショップという技法の有効性を社会科学系の大学生として体験でき、よい学習の場になりました。

〈参考〉岩手県ホームページ「つくろう!いわての総合計画」  
<http://www.iwate-nextplan.jp/workshop/index.html>

※地域連携推進センターでは、今後も自治体ほか地域団体と連携し、様々な「場」の提供をしていきます。学生の皆さんが多く活用してくれることを期待します。

## 「第1回 南いわて地域活性化塾」に参加しました。



平成 29 年 12 月 6 日 (水)「第 1 回 南いわて地域活性化塾」(主催/岩手県 県南広域振興局 場所/北上市 おでんせプラザぐるーぷ生涯学習センター)が開催され、本学から職員 3 名と学生 5 名(2 年生 2 名、1 年生 3 名)が参加しました。

この地域活性化塾は、岩手県南の若者を対象に、自治体や職種の枠を超えネットワークをつくり、地域を元気にするイベントや事業を生み出すことを目的とした県南地区では初の企画で、本学の参加者のほか、自治体、各種団体、民間などから 30 名が参加しました。

第一部は、平泉町で「秀衡塗」を手掛ける翁知屋の佐々木優弥代表取締役と北上ふるさと納税事業「きたかみチョイス」の登内芳也プロジェクトリーダーの両名から「地域・まちづくり」について講義がありました。

第二部は、「50 万円で、県南地区で実現したい取組み」をテーマにワークショップが行われ、若者らしい様々なアイデアが溢れていました。

学生の中には、初めてワークショップに参加した者もあり、不安と緊張の面持ちでしたが、グループ内での自由な意見交換が進むにつれ、徐々に輪の中に溶け込み楽しい時間となっていました。

発表したアイデアの中の一つに、本学スポーツセンターで、子供達が学生から直接スポーツを教わり体験する「県南オリンピック」の開催という企画もあり、改めて県南地区での本学の認知度を再認識し、そして地域貢献に対する取組みの重要性が感じられた会でした。

なお、平成 30 年に第 2 回目を開催予定です。

# 童話大賞 表彰式

～賢治のまちから～第  
17回全国高校生童話大賞  
(富士大学・花巻市・花  
巻市教育委員会主催)の  
表彰式が、2017年12月24日(日)になはんプラザ(花巻駅前)で行  
われました。



表彰式には金の星賞・銀の星賞受賞者の4名をお招きしました。2年連続銀賞受賞の小山さんには昨年に続く出席となりました。会場には受賞者のご家族、選考委員や花巻市・本学の職員などが出席し、一般の方々も多数ご来場いただきました。

岡田秀二実行委員長(富士大学長)のあいさつと、選考委員を代表して石野晶先生から講評を頂いたあと、受賞者には、実行委員長と田中宏暁 NHK 盛岡放送局局長から、表彰楯とトロフィー、記念品が贈られました。続いて上田東一花巻市長から受賞者へのお祝いの言葉がありました。その後、羽岡将一アナウンサーによるインタビュー形式で、それぞれの受賞者の方から作品のことなどについてお話をいただきました。

アトラクションとして、開式直後に花巻農業高校鹿踊部生徒さんたちが郷土芸能 鹿踊(ししおどり)を演じてくださり、表彰後は地元花巻北高校放送部生徒さんたちが大賞作品の朗読を披露して下さり表彰式を飾ってくれました。

花巻市は、童話作家である宮沢賢治の生誕の地です。このまちから全国の高校生に“童話”という自由な表現の場を提供する「全国高校生童話大賞」を企画し17回目となる今回は全国から1,041篇(高校数:201校)もの作品が寄せられ、金・銀の星賞のほか銅賞(佳作)7作品が入賞となりました。

## ▶金の星賞(大賞:1名)

高橋 璃来さん(北海道標茶高等学校3年)「知恵の神さま」

## ▶銀の星賞(優秀賞:3名)

肥沼 由里子さん(埼玉県立浦和第一女子高等学校2年)「二人のおじいちゃん」

加藤 言美さん(東京都香蘭女学校高等科1年)「猿の子」

小山 夏子さん(神奈川県カリタス女子中学高等学校2年)「あたりめと金平糖」



左から:小山さん、高橋さん、加藤さん、肥沼さん

第18回全国高校生童話大賞 作品募集期間:6月1日(金)～9月10日(月)  
詳しくは公式ウェブサイトを確認して下さい。 <http://www.koukousei-douwa.jp/>

## 富士大学校友会新役員決定! 同窓会の充実を図る。

平成30年1月25日(木)、富士大学会議室にて、富士大学校友会臨時総会が開催され、平成30年度の新役員が決定されました。



### 新役員

会長 根田 孝広(10回生)  
副会長 佐藤美恵子(11回生)  
同 伊藤 泰晃(30回生)  
常任委員 7名、監事 2名を選出。  
事務局 大学内のOB職員 4名

一昨年、副会長の緑川輝男氏の急逝による欠員や会長の辞任申出があり、また、平成27年11月に開催された大学の開学50周年記念式典並びに祝賀会で校友会の力が十分に発揮できなかったことが大きな反省点であったことから、新役員の選出が急がれていました。

日本社会が大きな転換点にあって、地方私立大学がさらに厳しい状況にある中、富士大学は、地域に貢献する大学として、地域定住人材育成を明示したプログラム教育や地域のシンクタンクとなる地域連携活動に力を入れています。岩手の数少ない高等教育機関の一つとして、存在意義を強くして地域とともに発展できますよう、皆様のご協力、ご支援をよろしく願っています。

## はなまき産業 大博覧会2017に 参加しました。



平成29年11月25日(土)・26日(日)の両日、花巻市総合体育館において開催された『はなまき産業大博覧会2017』に、本学から「関係機関ブース」として、初めて参加しました。

本学の地域人材育成をはじめ「新たな地域貢献」の取組み等を紹介しました。

来場の皆様からは、「アジアプロ野球チャンピオンシップ2017」(11/16～18東京ドーム)で大活躍した本学出身3選手の話で盛り上がりました。多くの方々から「地域の励みになる」「これからも富士大学を応援するから」など温かい声をかけていただきました。

また、同体育館第2アリーナにおいて同時開催された「キラキラみらいクリエイション」は、子供たちがさまざまな仕事を体験する企画で、ここでも多くの子供たちをサポートする本学学生ボランティアやOBの姿がありました。

## 第2回「富士大学地域推進連絡協議会」を 開催しました。

平成30年2月15日(木) ホテルグランシェール花巻(花巻駅前)にて、「平成29年度第2回富士大学地域連携推進連絡協議会」を開催いたしました。

下半期(平成29年10月～平成30年2月)の活動報告等が、本学、花巻市、花巻商工会議所、花巻信用金庫、NPO法人SUMはなまきからあり、その後、次年度以降における花巻市の地域活性について意見交換がなされました。



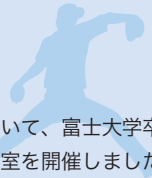


# 沖縄で初の 「父母等懇談会」開催



平成 29 年 12 月 15 日 (金)、沖縄県宜野湾市「健康文化村 カルチャーリゾート フェストーネ」で父母等懇談会が開催されました。沖縄県では初めての開催となり、18 名の父母の皆様と知念高校、糸満高校の 3 名の先生方のご出席をいただきました。本学からは、馬達幸キャリアセンター長、佐々木修一入試部長、菊池豊学生部長、高橋吉恵総務統括部長、豊田スポーツ振興アカデミー研究員(硬式野球部監督)の 5 名が出席しました。懇談会では、本学の概要や学修・成績、学生生活、就職状況等について、各担当部長から説明がありました。その後、個別面談が行われました。また、高校の先生方とも意見交換がもたれ、本学の教育に理解を深めていただきました。ご出席の皆様からは、こうした機会を今後も是非続けてほしいとの意見を頂きました。

# 本学出身プロ・社会人野球選手 交流野球教室を開催しました



平成 29 年 12 月 23 日 (土)、富士大学スポーツセンターにおいて、富士大学卒業のプロ野球選手 3 名と社会人野球選手 8 名を講師に迎え、少年野球教室を開催しました(主催:富士大学スポーツ振興アカデミー)。

県内の小中学生が午前と午後に分かれ、それぞれ 1 時間 30 分の間、選手からキャッチボールや守備等のコツを教えてもらいながら練習しました。

体の動かし方やボールとの距離の取り方など技術面の他にも、野球に対する考え方を学ぶ機会となったようです。

「どうしたら強くなれるか」という子どもたちからの質問に対し、外崎選手が「道具を大切にすること、活動を支えてくださる周囲の人に感謝してプレイすること」と答えていました。

## プロ野球選手

- 山川穂高 (埼玉西武ライオンズ)
- 外崎修汰 (埼玉西武ライオンズ)
- 小野泰己 (阪神タイガース)

## 社会人野球選手

- 守安玲緒 (三菱重工神戸・高砂)
- 夏井大吉 (室蘭シャークス)
- 夏井健吉 (TDK)
- 大井佑磨 (TDK)
- 平野純也 (JR 北海道)
- 富里 悠 (三菱日立パワーシステムズ横浜)
- 夏井康吉 (JR 北海道)
- 西村拓真 (新日鐵住金かずさマジック)



この交流野球教室開催に際しまして、球団関係者、企業様からのご理解とご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

野球を通じて子供たちの健全な肉体と精神力が育成されることを祈念いたします。

# Results

FUJII UNIV. Sports Clubs 大会結果  
2017. 秋~2018. 3. 31

( ) の数字は学年

## 剣道部

### ■東北学生剣道新人大会

11 月 19 日 (宮城:塩釜カス体育館)  
男子 1 回戦 ○東北学院大学 B - 富士大学 A ●  
女子 1 回戦 ○富士大学 A - 東北大学 A ●  
2 回戦 ●富士大学 A - 青森大学 A ○

## 硬式野球部

### ■第 48 回明治神宮野球大会

11 月 10 ~ 15 日 (東京:明治神宮野球場)  
1 回戦 対 大阪商業大 (関西五連盟第一代表) 4 - 1  
2 回戦 対 東洋大 (東都大学野球連盟代表) 1 - 9

## サッカー部

### ■第 66 回全日本大学サッカー選手権大会

12 月 13 日 ~ 24 日 (首都圏)  
1 回戦 対 静岡産業大 (東海地域第一代表) 2 - 3 (延長)

## 柔道部

### ■湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会

11 月 17 ~ 19 日 (石川:松任総合運動公園)  
男子 60kg 級:中村航輔 (1)  
決勝トーナメント進出 1 回戦敗退  
66kg 級:天羽翔太 (2)  
決勝トーナメント進出第 3 位入賞  
90kg 級:阿部拓海 (2)  
決勝トーナメント進出 1 回戦敗退  
女子 57kg 級:天羽つかさ (1)  
決勝トーナメント進出 1 回戦敗退

### ■全日本女子柔道選手権大会東北予選会

3 月 4 日 (青森県立弘前武道館)  
出場者:高宮美咲 (2) (若手県代表) 出場

## 準硬式野球部

### ■第 35 回全日本大学 9 ブロック対抗準硬式野球大会

11 月 24 日 ~ 26 日 (岡山:倉敷マスカットスタジアム)  
東北選抜メンバーとして下記の 3 名が選出された。  
コ ー チ 高橋直樹  
主務・内野手 佐々木和 (3)  
主将・外野手 日下部大輝 ③(3)  
投 手 菅原洋平 ③(3)  
捕 手 伊藤 光 (1)  
※○印は、選出回数  
予選リーグ 第 1 戦 東北地区 1 - 1 東海地区  
第 2 戦 東北地区 1 - 12 九州地区

## 女子ソフトボール部

### ■藤原初昇杯 全国大学・実業団対抗選抜ソフトボール大会

11 月 25 ~ 27 日 (愛知:豊田市運動公園)  
A リーグ 6 位

## 卓球部

### ■東京卓球選手権大会

3 月 6 ~ 11 日 (東京体育館)  
男子シングルス 舘岡享祐 (2)、熊谷翔哉 (2) 2 回戦進出  
男子ダブルス 石井大生 (4)・小田桐 (職員) 組  
2 回戦進出  
女子ダブルス 佐々木真美佳 (2)・関由希音 (2) 組  
2 回戦進出

## テニス部

### ■東北学生選抜室内テニス選手権大会

12 月 22 ~ 24 日 (宮城:シエルコムせんだい)  
男子シングルス 田村融佑 (3) 3 位  
男子ダブルス 田村融佑・田村 (若手医大) 組 優勝  
女子シングルス 高内 麗 (3)・柴崎 (東北福祉大) 組 準優勝

### ■東北インドアテニス選手権大会

2 月 24 ~ 25 日 (山形県総合運動公園)  
男子ダブルス 田村融佑・吉田 (若手医大) 組 準優勝

## バスケットボール部

### ■東北学生バスケットボール新人大会

12 月 10 ~ 17 日 (若手大学、東北学院大学)  
男子 準々決勝 対 宮城教育大学 67 - 84  
女子 準々決勝 対 福島大学 76 - 89  
ベスト 8

## バドミントン部

### ■東北学生バドミントン秋季リーグ

11 月 6 ~ 8 日 (宮城野体育館)  
男子団体 I 部ブロック 優勝  
I 部ブロック 富士大学 A 対 東日本国際大学 A 3 - 1  
富士大学 A 対 仙台大学 A 3 - 0  
富士大学 A 対 東北福祉大学 A 3 - 0

### ■全日本総合バドミントン選手権大会

11 月 26 日 ~ 12 月 3 日 (東京:駒込体育館)  
男子シングルス 菊地裕太 (4)  
予選一回戦 対 山下啓輔 2 - 0  
予選二回戦 対 高野将斗 2 - 0  
本戦一回戦 対 古賀 穂 0 - 2  
ベスト 32

### ■東北新人学生バドミントン選手権大会

12 月 4 ~ 7 日 (宮城野体育館)  
男子団体 準優勝  
男子ダブルス 小田桐綾 (2)・倉田一樹 (2) 組 優勝  
福士賢治 (2)・米村 拓 (2) 組 第 3 位

## ハンドボール部

### ■東北学生ハンドボール秋季リーグ

9 月 16 ~ 24 日 (宮城野体育館他)  
男子 5 戦 5 勝 男子 1 部リーグ 1 位  
<ベスト 7> 遠藤拓也 (4)、阿部恭介 (3)、比嘉達法郎 (3)  
女子 3 戦 2 勝 女子 A リーグ 2 位  
<得点王> 矢内冴子 (4)  
<ベスト 7> 矢内冴子 (4)、高田静 (3)

### ■東北総合ハンドボール選手権大会

11 月 11 ~ 12 日 (福島:石川町総合体育館)  
女子団体 2 回戦 対 秋田大学 22 - 18  
準決勝 対 仙台大学 19 - 18  
決勝 対 不來方高校 16 - 22  
準優勝

### ■全日本学生ハンドボール選手権大会

11 月 3 ~ 7 日 (いしかわ総合スポーツセンター)  
男子 1 回戦 対 大同大学 22 - 32  
女子 1 回戦 対 天理大学 28 - 19  
女子 2 回戦 対 筑波大学 16 - 33  
女子ベスト 16



# 平成31年度 入試案内

経済学部 / 経済学科・経営法学科

	AO入試・社会人入試			推薦入試		地域・高校連携協定校特別入試	職業会計人・商業科教員養成特待生入試	特待生入試		一般入試		センター入試		編入・転入入試		留学生入試	
	I期	II期	III期	指定校推薦	スポーツ推薦 公募推薦			I期	II期	I期	II期	I期	II期	I期	II期		
出願期間	自己PRカード提出期間			I期	II期			I期	II期	I期	II期	I期	II期	I期	II期		
	8/1(水)	8/27(月)	9/25(火)														
	8/24(金)	9/21(金)	11/30(金)	10/9(火)	11/19(月)	11/19(月)	11/19(月)	11/19(月)	1/7(月)	1/7(月)	2/8(金)	1/7(月)	2/8(金)	10/9(火)	1/7(月)	1/7(月)	
	願書等提出期間			10/26(金) 消印有効	12/7(金) 消印有効	12/7(金) 消印有効	12/7(金) 消印有効	12/7(金) 消印有効	2/6(水)	2/28(木)	2/6(水)	2/28(木)	2/6(水)	2/28(木)	10/26(金) 消印有効	2/6(水) 消印有効	2/6(水) 消印有効
	8/13(月)	9/10(月)	10/15(月)														
	8/31(金)	9/28(金)	12/7(金)														
試験会場	本学・札幌		本学・札幌・沖縄	本学		本学・札幌	本学	本学		本学・仙台・東京		—		本学		本学	
試験日	面接試験 9/7(金)	面接試験 10/5(金)	面接試験 12/14(金)	11/2(金)	12/14(金)	12/14(金)	12/14(金)	12/14(金)	2/13(水)	2/13(水)	3/8(金)	大学入試センター試験 平成31年1/19(土)・1/20(日)		11/2(金)	2/13(水)	2/13(水)	

※詳しくは「富士大学入学選抜実施要項・入学願書2019」またはウェブサイトをご覧ください。

## 2018 夏のオープンキャンパスを開催します。

**申し込み**  
電話、メール、ウェブサイトのメールフォームで予約。当日参加も可。  
**入試部** 0198-23-7974  
nyushi@fuji-u.ac.jp

毎年恒例のオープンキャンパスが7月16日(月・海の日)に開催されます。当日は学部、学科、就職支援、各種資格取得講座などの説明や模擬講義、在学生との懇談、キャンパス見学を実施予定。参加された方には富士大学オリジナルグッズを差し上げます。



## 平成30年度 学事予定 CAMPUS CALENDAR

**前期**

- 4月2日～6日 ● 在学生ガイダンス・履修登録・健康診断
- 4月7日 ● 入学式
- 4月9日～13日 ● 新入生ガイダンス・履修登録・健康診断
- 4月9日 ● 前期授業開始
- 4月19日～20日 ● 新入生学外オリエンテーション
- 5月 ● 学生会総会
- 7月～9月 ● 図書館司書・司書補講習
- 7月16日 ● 夏のオープンキャンパス
- 7月23日 ● 前期授業終了日
- 7月24日～31日 ● 前期定期試験
- 8月1日～9月14日 ● 夏季休業
- 9月7日～9日 ● 花巻まつり
- 9月10日～14日 ● 父母等懇談会

**後期**

- 9月18日 ● 後期授業開始
- 10月13日～14日 ● 紫陵祭
- 11月28日 ● 専門演習発表会
- 12月19日 ● 教養演習発表会
- 12月25日～1月4日 ● 冬季休業
- 1月7日 ● 後期授業再開
- 1月19日～20日 ● 大学入試センター試験
- 1月22日 ● 後期授業終了日
- 1月24日～31日 ● 後期定期試験
- 2月1日～3月29日 ● 春季休業
- 3月15日 ● 卒業式





## お知らせ 寄附金の控除について

**個人が富士大学へ寄附した場合の従来の控除**  
「特定公益増進法人」への「特定寄附金」として確定申告することにより**所得控除**ができました。  
**平成29年12月から** **新しく追加**  
「公益社団法人等に寄附した場合の所得税額の特別控除」の要件を満たし**税額控除対象寄附金**として扱われることになりました。  
簡単に言うと… **所得控除** か **税額控除** のどちらかを選択できるようになりました。  
※高所得者以外は税額控除が有利です。詳しくは、本学のホームページをご覧ください。

## OB Message

千田 祥平さん  
Shohei Chida  
平成28年 経済学部経済学科卒  
●出身：青森県立本道高校  
●勤務：盛岡スコール高校

現在、私は地歴公民科の教員として盛岡市内の私立高校に勤務しています。大学入学時より、教員を将来の選択肢の一つとして考えていました。就職活動を行っていく中で、4年次に行った教育実習で自分が好きだと思える仕事であることに気づき、現在の高校に採用していただきました。現在は、世界史を中心に社会科科目全般の授業を担当しています。授業では「生徒と作る授業」をテーマに、受動的な学習ではなく、自ら学び考える学習を重視し、適切なアドバイスをしたりヒントを出したりしています。また、実際に外に出て農作物の販売や六次産業化について討論するなど生徒が楽しい・役立つと思える授業を心掛けています。校内では初年から生徒会を担当しています。学校行事の企画運営のほか校則についての話し合いなど、生徒と共に環境改善や行事の企画について討論しています。できるだけ生徒の意見を大事にしつつ、時には厳しい言葉もかけながら活動をしています。授業や日々の学校生活を通して生徒の「生きる力」はもちろんのこと、そこに「個性」を出していけるように、一人ひとりの魅力を引き出すためにどのような「言葉」をかけるかを考えています。思い描いていた教員の理想像よりも現実は大変で、日々の喧騒に疲れる日々ですが、それでも学校に行けば生徒が声を掛けてくれますし、熱心に授業に取り組み聞いてくれる姿を教壇から見ると、苦労が報われている気がするのと同時に新たな力が湧いてきます。学生時代は、陸上競技部に所属し主将を務めさせていただきました。それぞれの良さを引き出し、チームとしてまとめあげることが容易ではありませんでしたが、一人ひとりとの「対話」を通して信頼関係を築き上げていきました。また、図書館サポーターなどに参加し、多くの人と交流する機会があったため自分の視野や世界を広めることができました。大学4年間で得た経験は、自信と勇氣になっています。

学生の皆さんは、勉強や部活動、アルバイトなど多忙な日々を過ごしていると思います。その忙しさの中で、もし自分自身の目標が消えかけているなら、初心に戻ってどんな思いで入学していきたくかを考え直してみてください。目標を持って努力している人は、必ずその努力を認め、応援してくれる人がいます。そのような人を大切にしてください。人の事を思うことができる人は、それだけで素晴らしい人間です。これからの長い人生を、充実したものにできるよう願っています。

